

あさひ子育て安心ネットワークについて

1 設立目的

「すべての子育て家庭が安心と喜びを実感しながら、子どもを生み、育てられるようなあたたかいまちづくり」を実現するため、「旭区の子どもを地域全体で見守る!!」を合言葉として旭区内の子育て支援機関、団体等が連携し、子育て支援に係る様々な課題についての情報共有や、意見交換を行うことにより、未就学児童の健やかな育ちを応援する「あさひ子育て安心ネットワーク」が、平成26年3月に結成されました。

2 構成団体

区役所、社会福祉協議会、医師会、薬剤師会、歯科医師会、助産師会、学校園、保育所、民生委員児童委員協議会、地域自立支援協議会、あさひの輪、すみれ乳児院、NPO ゆるり、NPO フェリスモンテ他

3 活動内容

会議は、区役所と区社協が事務局となり年3回開催しています。

当初は各団体での情報を提供という場でしたが、校下ごとに話し合いの場を持ち、各地域の情報の共有を図りグループワークで地域課題を検討するなど、きめ細かいネットワークを構築できるよう工夫しています。議題としては、子育て世代の親子の見守りなどについて話し合っています。「顔の見える関係」が構築され、要保護児童対策地域協議会(要対協)による各機関との連携が進み児童虐待防止対策としても有効な会議としてあります。

また、子どもの見守りのためのツールである「あさひキッズカード」は、この会議から生まれました。

4 「あさひキッズカード (Asahi Kids Card)」

あさひ子育て安心ネットワークで情報共有のツールとして平成26年4月に作成されました。旭区内に居住の未就学児童や母子手帳交付時に配布しています。



乳幼児健診や医療機関受診、子ども・子育てプラザ、地域の子育てサロン、つどいの広場、幼稚園の園開放事業の参加などの履歴を記載することにより、地域全体で子育てを見守る役割をもつようになっています。また登録いただいた商店などで割引等の特典もつけるとともに、地域の子育て支援施設の利用によりスタンプを貯めていきグッズをプレゼントするなど付加価値をつけて地域とともに子育て世代を応援しています。

配布場所 窓口（母子手帳交付時等）・助産師訪問時・子育てサロン等の子育て支援施設など